

## 彦根統合新校設置懇話会 第1回会議 概要

### 1 日 時

平成25年5月15日(水) 10:00~12:00

### 2 場 所

滋賀県立彦根翔陽高等学校 セミナーハウス

### 3 会議内容

- (1) 懇話会の位置付けと進め方について
- (2) 滋賀県立高等学校再編基本計画および同実施計画について
- (3) その他

### 4 出席者

#### (1) 委 員

- 岡崎 正彦 委員(彦根市PTA連絡協議会 会長)
- 杉本 定幸 委員(彦根翔陽高等学校同窓会 会長)
- 福渡 努 委員(滋賀県立大学人間文化学部 准教授)
- 藤田 隆行 委員(彦根西高等学校同窓会 会長)
- 宮野 由紀絵 委員(彦根西高等学校 学校評議員)
- 八谷 啓子 委員(彦根翔陽高等学校 学校評議員)
- 堀川 英雄 委員(彦根市企画振興部 部長)

#### (2) 統合新校開設準備室等

- 小林 庄司 統合新校開設準備室長(彦根翔陽高等学校長)
- 篁 大英 統合新校開設準備室参事(彦根西高等学校長)
- 茶谷 不二雄 県教育委員会事務局学校支援課参事

### 5 会議の要旨

統合新校設置懇話会要綱に基づき、懇話会の位置付けを確認したのち、会議の進め方や公開方法、滋賀県立高等学校再編基本計画および同実施計画について説明を行い、質疑応答や意見交換を行った。

<主な意見>

校名案については、12月中旬頃では時間的に難しいのではということだが、ご意見をいただく時期は予定であり、校名選定の進め方等については次回にご意見をいただく。

統合新校の9学級は、彦根市内の学校での進路保障を考えたもの。3校併置は県民説明会等で後輩のいない学校はよくないとの意見を踏まえたもの。他校の定員を増やすことも検討したが、耐震工事や増築場所等の問題があり難しいと判断した。

どのような9学級の総合学科を作っていくかについては、今後検討を重ねていきたい。

校風、学科、学期制等が違う3つの学校が存在することになり、移行期には工事が入る。統合に反対するものではないが、配慮をお願いする。

南彦根駅から通学する生徒が多く、踏切が生徒であふれることが予想される。安全面の確保をお願いする。

3校併置とされた経緯は理解できるが、限られた敷地での増改築となり、市景観条例による高さ制限もあり、活動場所が狭められることのないようにしてほしい。

平成28年度再編スタートを目指しており、今年度に基本設計を行い、平成26・27年度には工事にはいる予定で準備を進めているところ。工事車両と通学路の安全面の確保が必要であるが、安全面については、建築課とも協議しながらしっかりと対応していきたい。

生徒の通学路の安全対策については、近隣には中学校や小学校もある。他市に通学する生徒もあり、対象となる生徒はたくさんいる。総合的な見地で検討すべき。

魅力ある学校づくりについて、企業人の立場からいうと、求人があること、スキルアップができること、出口が保障されていることがある。学校のミッションを決めていく時にどのように反映していくのかが大切である。

統合で部活動は活性化されるが、校歌、ユニフォームはどうするのかという課題もある。

最後の学びの校舎で、彦根西高の生徒が肩身の狭い思いをすることのないようにしてほしい。

新校は、計画では対等な統合だが、彦根翔陽の要素を強く打ち出しているように感じる。彦根西高がなくなっていくことによる生徒や同窓会員の気持ちの整理が、跡地の利用も含めて、少しでもつけられるよう配慮してほしい。西高生は西高で卒業させてあげてほしいという同窓会の思いもある。

彦根翔陽もなくなるという認識であり、同窓会としては閉校式を考えている。

懇話会は、再編計画の円滑な実施に向けてご意見をいただく場であると、ご理解いただきたい。

今日の会議に、総合学科がどのようなものか彦根翔陽高校、彦根西高校の学校案内などを準備してほしい。

様々な意見があることを認識した。今回の懇話会の内容をまとめていただいて、次回の会議で確認できるとよい。